

半田市 蔵出し情報 報道機関提供資料

問合わせ

0569-26-4888
新美南吉記念館
担当 遠山光嗣

令和2年10月27日提供 (事前情報・事後情報)

名称	ベラルーシの日本語教室生徒らが、南吉の詩「明日」を朗読してユーチューブで発信
日時	10月5日(月)公開開始
場所	ベラルーシ共和国 首都ミンスク
趣旨 (目的)	5月19日付で情報提供しました“朗読動画を投稿して「明日」をとどけよう!”には、10月25日現在で66本の動画が投稿されています。この度、民主化運動で揺れるベラルーシ共和国で日本語を学ぶ生徒らが日本語で南吉の詩「明日」の朗読に挑戦し、ユーチューブで公開しました。
内容	○動画の撮影は、現地で日本語教室を運営する日本文化情報センター(ミンスク市立第5児童図書館内・代表辰巳雅子氏)が呼びかけました。 ○日本語教室の生徒、子どもクラブ「お日さまの本」の児童、保護者ら30名が参加し、撮影はミンスク市立第5児童図書館とその向かいにある岩の博物館(公園)で行われました。 ○日本語による朗読の他に、ベラルーシ語による朗読とロシア語の手話(ベラルーシ語とロシア語の手話はほぼ同じ)も付けられています。 ○動画は約3分間で、新美南吉記念館HPからも見られます。
担当者 情熱メッセージ	○ベラルーシの日本文化情報センターでは、新美南吉作品を翻訳して、これまでに2冊の童話集を出版したほか、現地の子どもが童話集を読んで描いた感想画を送ってくれるなどしています。現地では8月の大統領選挙をきっかけに民主化運動が激しくなり、センターの関係者がどうしているのか心配していましたが、思ってもみない嬉しい知らせにとっても喜んでます。 ○新美南吉記念館では8月に展示したベラルーシの子どもたちによる南吉童話の感想画を再度展示しています(～11月15日)。その後はクラシテイ3階の市民交流センターでも展示します(11月20日～12月13日)。
別紙	有(“みんなで「明日」をとどけよう!”チラシ)
写真	有(動画のスクリーンショット)

半田市企画課広報情報担当
0569-84-0603





手に持っているのは国を象徴する花「矢車菊」の造花